



副議長 伊藤勝美



議長 小林康宏

就任 ごあいさつ

日ごろから市政全般にわたり、市民の皆さまには温かいご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

このたび、私どもは、5月臨時会におきまして、議長・副議長に就任いたしました。議会運営の重責を担うとともに、市政全般への幅広い目配りなど職務の遂行に全力を傾ける所存でございます。

最近では、景気の緩やかな回復が見られ、明るい話題を聞くことができるようになりました。しかし、蒲郡市では、いまだにこの景気回復を実感できない状況にあります。このような時こそ、限られた財源をよりいっそう重点的かつ効率的に運用し、皆さまの要望を市政に確実に反映させることが必要です。

そのために市議会の果たす役割は、非常に重要です。議決機関として市民の皆さまの意思を迅速に察知し、市政に確実に反映させていくこと、また、皆さまの代表として市政運営の監視機関であることも十分認識しなければなりません。

私たちのまち蒲郡を住みよいまちにするため、がんばってまいりますので、皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

専決処分の承認

● バリアフリー改修に伴う
固定資産税の減額措置

(第41号議案)

地方税法の改正に伴い、平成19年4月1日から平成22年3月31日までの間に①65歳以上の方、②介護保険法の要介護・要支援の認定

及び産業経済活動の活性化に期待される国道23号蒲郡バイパスの諸問題の調査研究と早期建設を図るために設置されています。

を受けている方、③障害のある方が居住する住宅(賃貸住宅を除く)に一定のバリアフリー改修工事を行い、改修工事の完了の日から3

か月以内に所定の申告をした場合、固定資産税の税額を3分の1減額することになりました。(1戸当たり100㎡相当分まで、改修工事が完了した年の翌年度分に限り)

その他の議案

● 監査委員の選任

議会選出の監査委員を、

緊急質問

日恵野佳代議員とすること
に同意しました。

鎌田篤司(市政クラブ)

土壌・水質検査の
費用負担は

問 興和株蒲郡工場の土壌・地下水汚染により、

周辺住民から土壌・水質検査や新たに水道を敷設したいとの要望がある。先の住民説明会において、会社側

は行政と話し合いながら善処するとしているが、市はどのように対応するのか。

答 汚染原因が特定できないが、原因者のひとりである限り、社会的責任を果たしていただきたいと考えている。2項目の水質検査については、会社負担で行うように申し込んでいる。

柴田安彦(日本共産党)

水質調査の範囲を
拡大する考えは

問 興和株の土壌・地下水汚染は周辺への影響が心配される。住民説明会では、周辺500m圏内30カ所の水質を調査するとしていた。04年に地下水に同様の汚染が確認された旭公園まで広げるべきではないか。

答 旭公園の地下水汚染との関連は、県の調査を待つて判断したい。もう地下水を飲用していない世帯があり、18カ所の調査となつたと聞いています。市としては、範囲を広げての調査を県に要望していく。

5月臨時会で審議された議案一覧

- 専決処分の承認
- ④① 市税条例の一部改正
- ④② 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- 条例の一部改正
- ④③ 市税条例の一部改正
- 同意
- ④④ 監査委員の選任

(○内の数字は議案番号。④③は賛成多数で、それ以外は全会一致で可決・承認・同意されました。)